
TOMAS-PS/EX2 会計 (Type : E)

バージョンアップ操作手順書

Version 1.0.1

令和4年4月6日



目次

1. はじめに	3
2. バージョンアップ初期準備	4
3. サーバー側バージョンアップ処理	7
4. クライアントのバージョンアップ処理手順.....	13
5. バージョンの確認.....	14

1. はじめに

1.1 バージョンアップの種類

バージョンアップは以下の2つの処理を行う必要があります。

- ① クライアント・・・クライアント側のプログラムの入替えを行います。
- ② サーバー・・・サーバー側のプログラムの入替えを行います。

ダウンロードには、TOMAS ユーザサイトへのログイン ID・パスワードが必要となります。
事前にご用意ください。

※TOMAS をご利用の PC がインターネットに接続できない場合は、接続可能な PC にて
USB メモリ等にダウンロード後、TOMAS ご利用の PC にコピーしてください。

ご注意) サーバーのバージョンアップはサーバーで行ってください。

1.2 バージョンアップを始める前に

サーバーのバージョンアップを始める前に、念のためバックアップ処理を「全て」で行ってください。

バージョンアップは EX2 会計システムが導入されている端末で行ってください。

(バージョンアップ処理中は、他の端末での EX2 会計システムを使用しないでください。)

ご注意) バージョンアップ操作手順書の画面のバージョン（現在のバージョン、アップデートのバージョン）は、実際のバージョンと異なります。

最新のバージョンは、ダウンロードしたバージョンアップファイルの[最新の日付]となります。

2. バージョンアップ初期準備

2.1 バージョンアップファイルのダウンロード

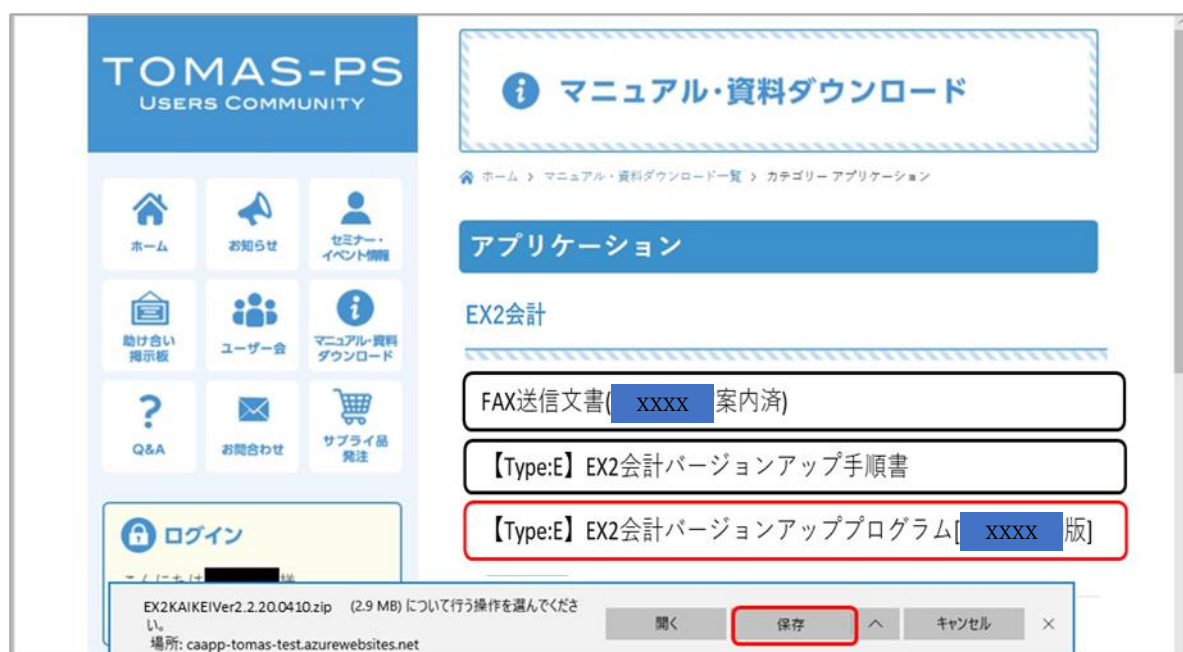
当社 HP→[ソリューション]→[学校向け]→[TOMAS-PS]→[TOMAS-PS ユーザサイトはこちらから] (または <https://www5.city.co.jp/>) よりログインして、[マニュアル・資料ダウンロード]→[アプリケーション]を選択してください。



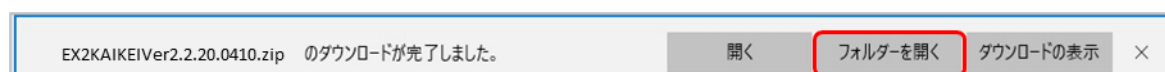
[【Type:E】 EX2 会計バージョンアッププログラム[最新の日付]]を選択してください。



[保存]を選択してください。



ダウンロード完了のメッセージが表示されたら、[フォルダーを開く]を選択してください。



上記例は Microsoft Edge です。ご利用のブラウザによってダウンロード時の動きは異なります。ご了承ください。

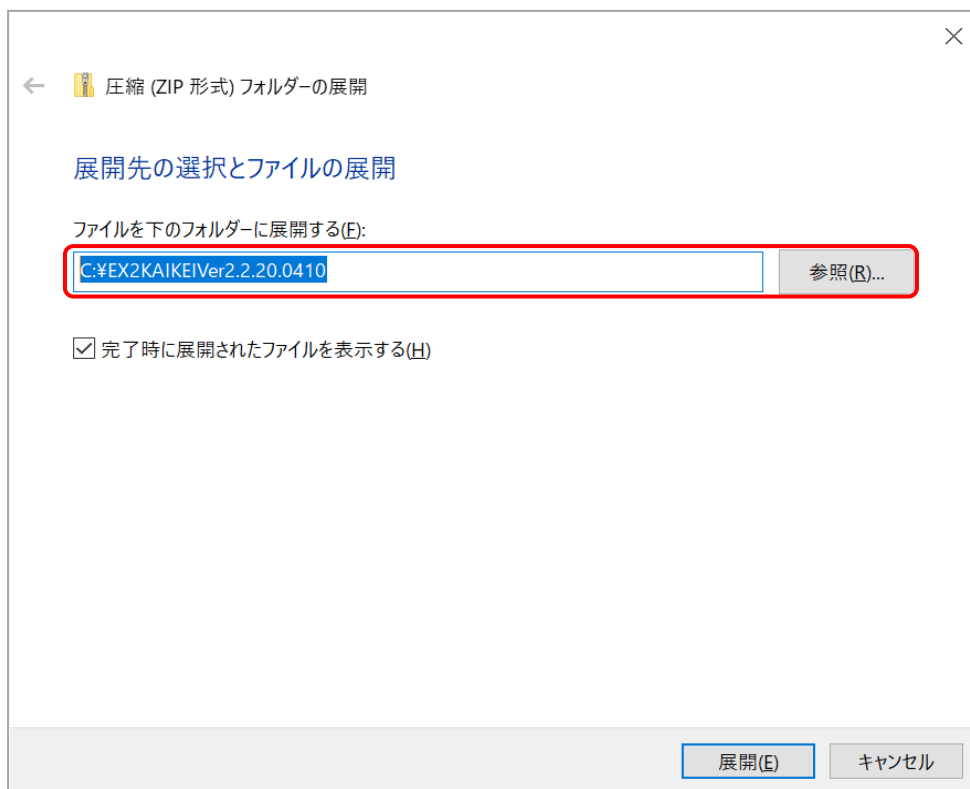
2.2 バージョンアップファイルの展開

ダウンロードしたバージョンアップファイルを右クリックしてメニューを開き、「すべて展開」を選択してください。

(解凍ソフト等をインストールされている場合は、メニューに「すべて展開」が表示されない場合がありますので、インストールされているソフトの手順に従って解凍してください。)



以下の画面が表示されますので、展開するフォルダー指定して、「展開」を選択してください。



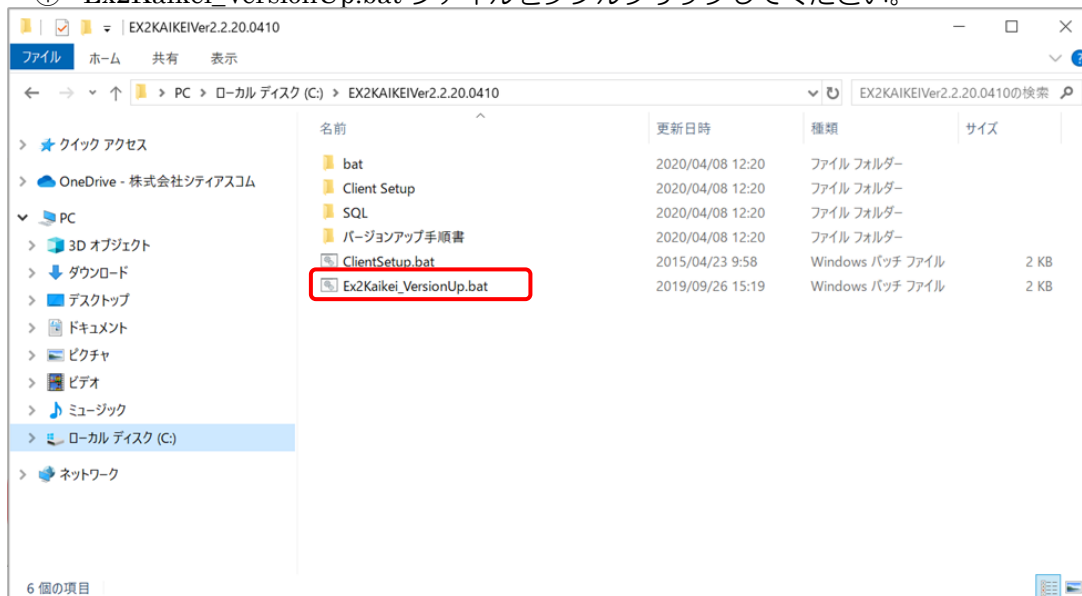
※ファイル名、フォルダー名に日本語を含まないようにご注意ください。
正常に動作しなくなる恐れがあります。

3. サーバー側バージョンアップ処理

サーバーのバージョンアップはサーバーで行ってください。

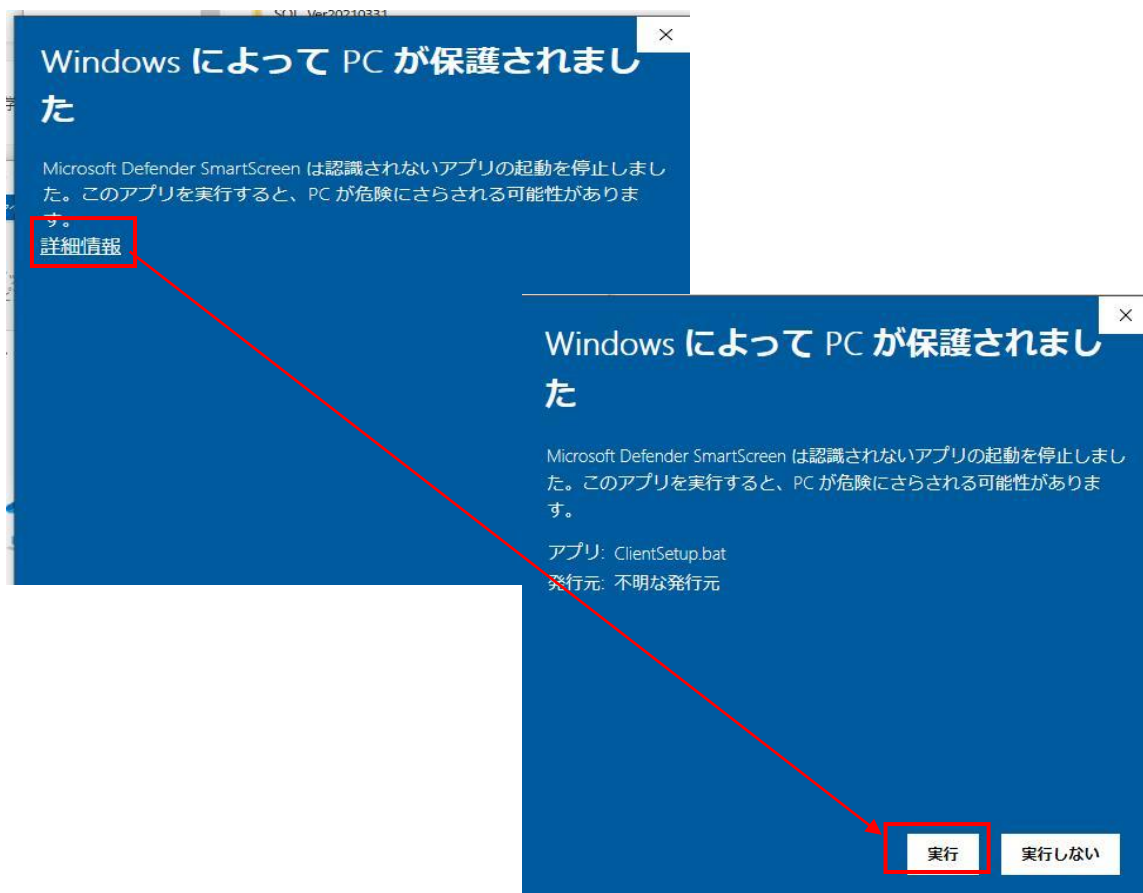
バージョンアップ前にバックアップを取って頂くようお願いします。

① Ex2Kaikei_VersionUp.bat ファイルをダブルクリックしてください。

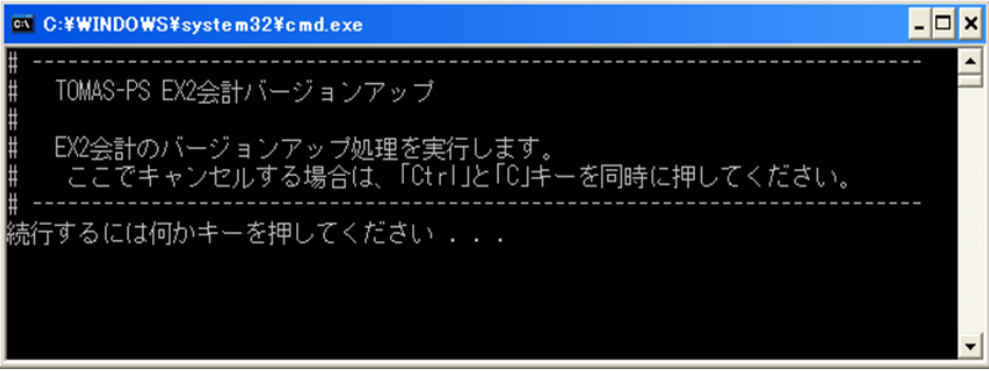


※以下のような画面が出た場合は、詳細情報をクリックし、実行ボタンを押してください。

(4. クライアントバージョンアップ時に発生した場合も同様の対応を行ってください)



-
- ② 以下のような画面が現れますので、画面の指示に従ってキーボードのキーを押します。
バージョンアップ処理は、環境によって完了までに15分程度掛かる場合もございます。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
#-----
# TOMAS-PS EX2会計バージョンアップ
#
# EX2会計のバージョンアップ処理を実行します。
#   ここでキャンセルする場合は、「Ctrl」と「C」キーを同時に押してください。
#-----
#
# 続行するには何かキーを押してください...
```

- ※ EX2 会計システムを起動している場合、バージョンアップ処理開始直後に下記画面が表示されます。EX2 会計システムを終了した後、再度サーバー側のバージョンアップ処理を、はじめからやり直してください。



```
*****
以下の方がTOMAS-PS EX2会計を起動しています。
全ての方がログオフ後に「EX2会計サーババージョンアップ.bat」
を再度起動してください。
オペレータID   オペレータ名      TERMINAL          USED_PRG_ID
city           インストラクター用  TOMAS-P02735     CCC03001
*****
Oracle Database 10g Release 10.1.0.5.0 - Productionとの接続が切断されました。
#-----
#   処理を中断しました。
#-----
```


③ バージョンアップが終了しましたら、下記画面が表示されます。

「正常終了」した事を確認しましたら、Enter キーを押下してください。

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

コミットが完了しました。

コミットが完了しました。

PL/SQLプロシージャが正常に完了しました。

コミットが完了しました。

== CHECK_OBJECT.sql [内容]正常にバージョンアップが完了したか確認をする。
-----
正常終了 ← 正常終了と表示されていることを確認します。
以上
*****
10-04-06 処理終了
*****
Oracle Database 10g Release 10.1.0.5.0 - Productionとの接続が切断されました。
#
# 終了しました。
#
続行するには何かキーを押してください . . .
```

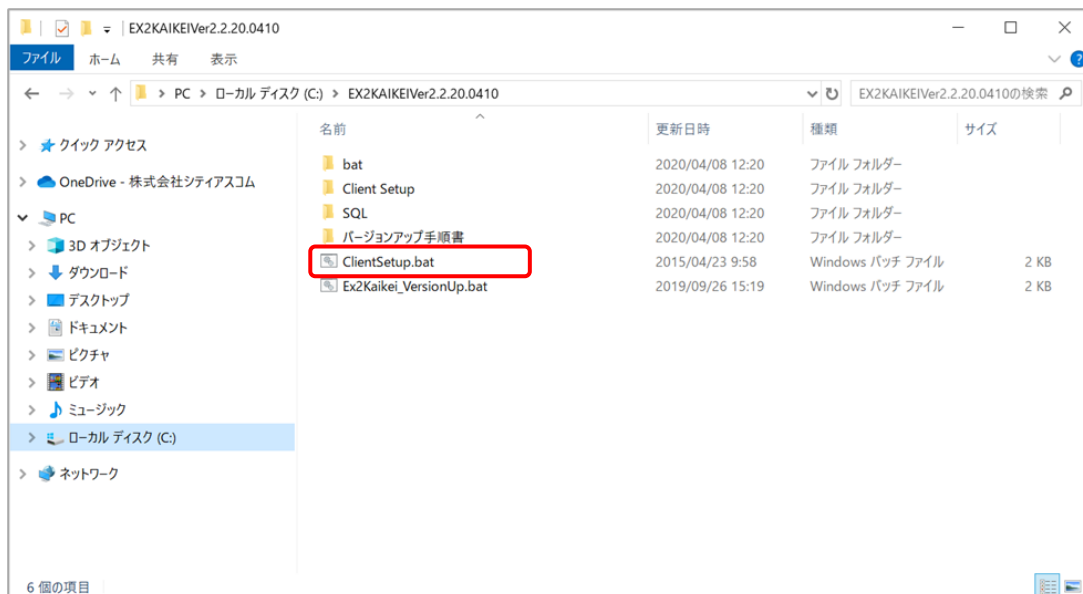
※ EX2 会計システムが複数環境導入されているお客様は、Enter キー押下後、下記画面が表示されます。

Enter キーを押下し、③～④同様の手順でバージョンアップを行ってください。

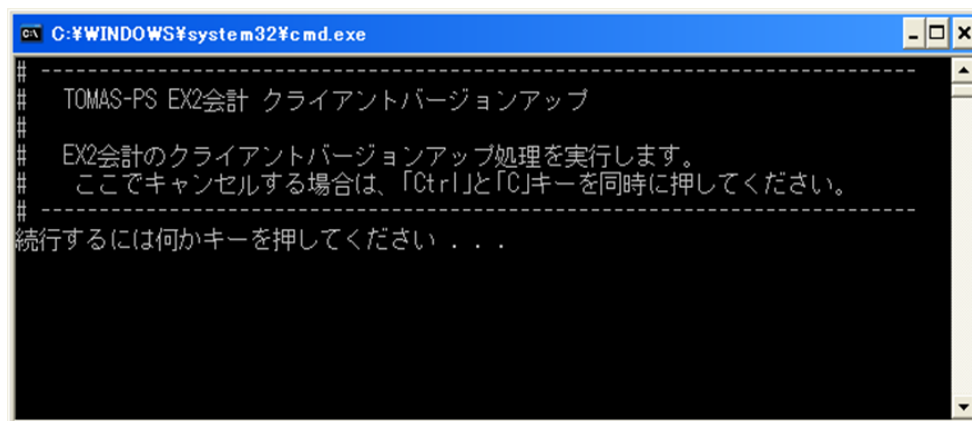
```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

#
# TOMAS-PS EX2 周辺会計バージョンアップ
#
# EX2会計のバージョンアップ処理を実行します。
# ここでキャンセルする場合は、「Ctrl」と「C」キーを同時に押してください。
#
#
続行するには何かキーを押してください . . .
```

④ ClientSetup.bat をダブルクリックしてください。

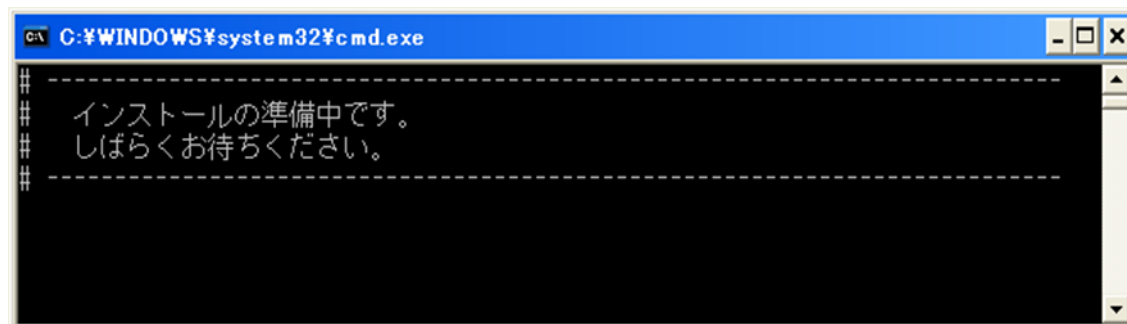


⑤ 以下のような画面が現れますので、画面の指示に従ってキーボードのキーを押します。



⑥ キーを押下後、下記メッセージが表示されます。

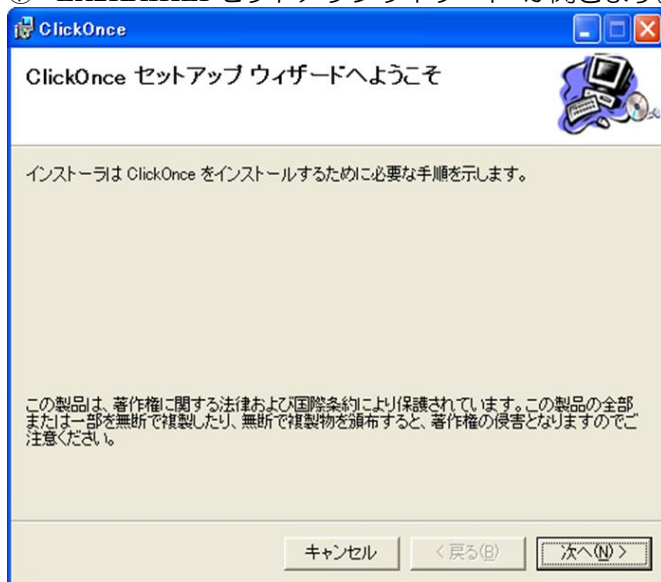
環境によっては、インストールが開始されるまで1分ほど掛かる場合がございます。



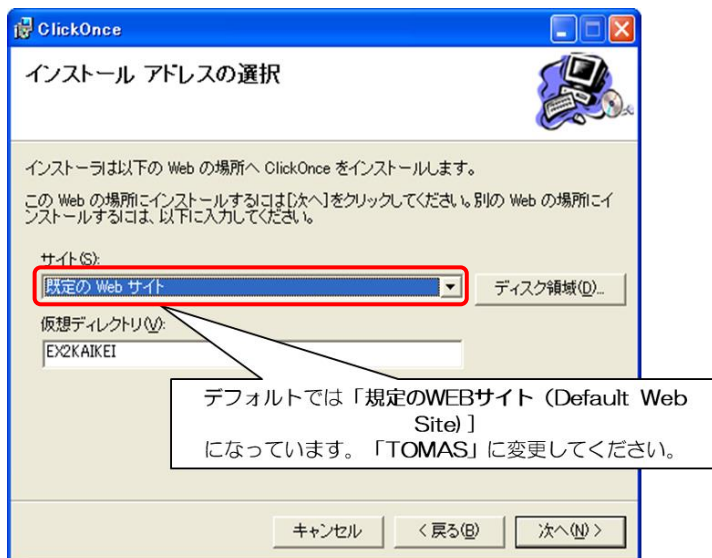
- ※⑥で、setup.exe(または setup) をサーバ機以外で実行した際、下記メッセージが表示され、バージョンアップが中断されます。
- その際、サーバ機にダウンロードしたバージョンアップファイルを配置して頂き、再度④よりバージョンアップを行ってください。



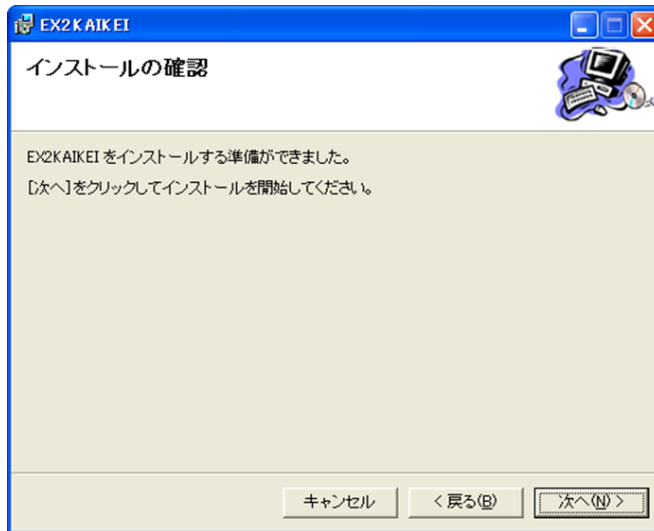
- ⑦ EX2KAIKEI セットアップウィザード が開きます。「次へ」を押してください。



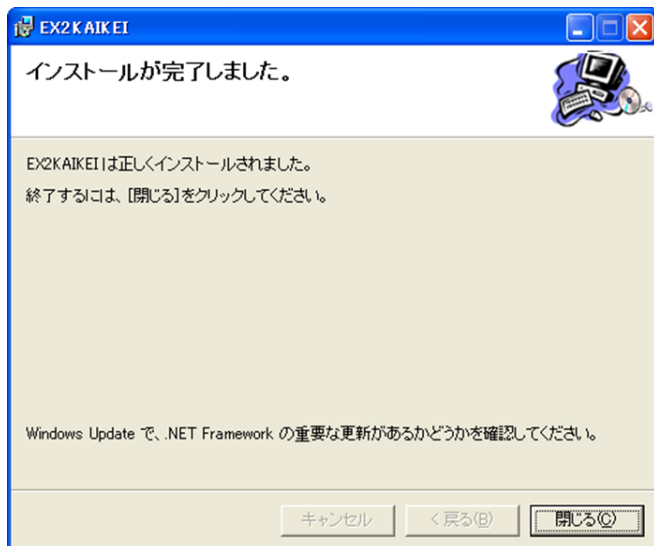
- ⑧ インストール アドレスの選択でサイト(S):の初期値が「規定の Web サイト」になっているので、コンボボックスから「TOMAS」に変更してください。



-
- ⑨ インストールの確認画面が開きます。「次へ」を選択すればインストールが開始されます。



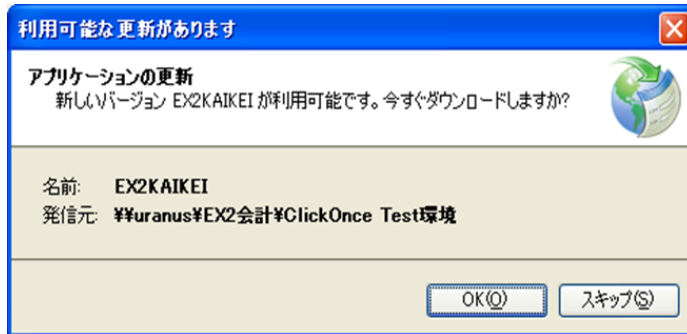
- ⑩ インストールが完了しました。「閉じる」を選択して終了してください。



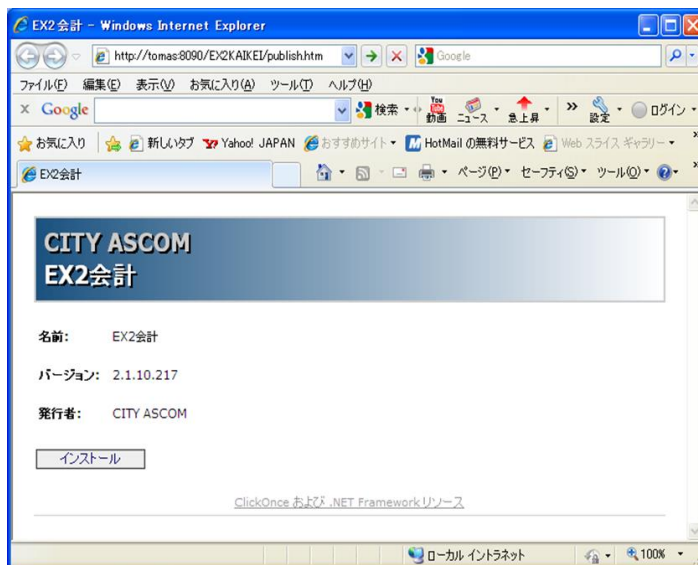
以上でサーバー側のバージョンアップは終了です。

4. クライアントのバージョンアップ処理手順

- ① サーバー側のバージョンアップ完了後、各クライアントで EX2 会計を起動します。
- ② 下記更新画面が表示されますので、「OK」を押してください。
ダウンロードが開始され、最新のバージョンに更新されます。

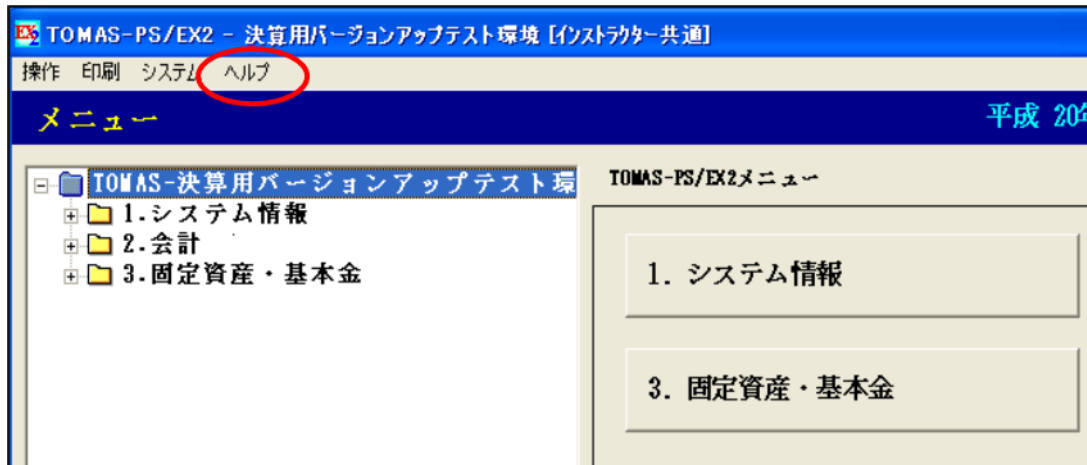


- ※ 上記画面にて「スキップ」を押下した際、手動で更新を行う必要があります。
「http://tomas:8090/ex2kaikai/publish.htm」を開き、インストールボタンを押下してください。バージョンアップが開始されます。

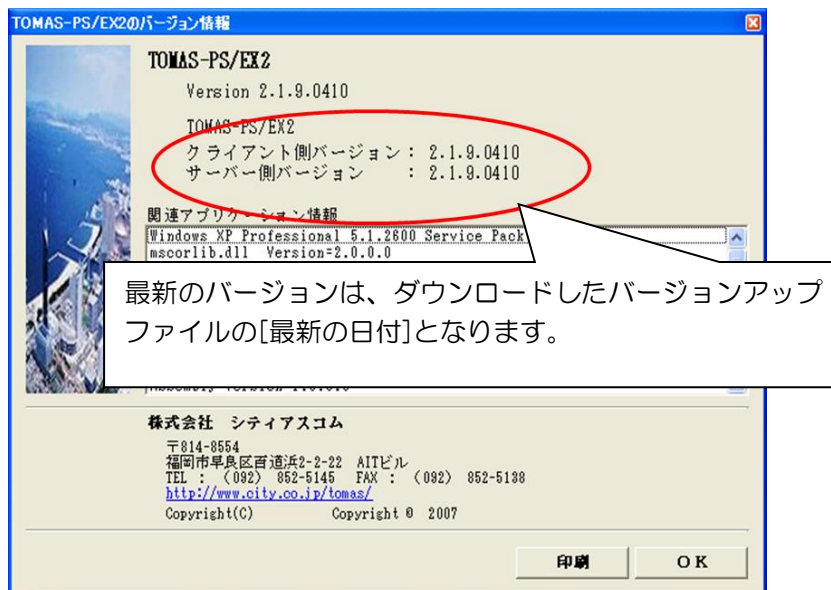


5. バージョンの確認

- ① TOMAS-PS/EX2 会計を起動して、ヘルプ→バージョン情報でバージョンを確認します。



- ② クライアント側バージョンと、サーバー側バージョンが 「2.2.22.0406」 になっていることを確認してください。



以上で、クライアント側のバージョンアップは終了です。